



報告致シマス、本案ハ現行法ノ第二條ニ市町村立尋常小學校教員ノ俸給ニ要スル經費ノ中一國庫ノ負擔トシテ支出スヘキ金額ハ毎年度七千五百万圓ヲ下ラサルモノトス」トアリマスルモノヲ「八千五百万圓ヲ下ラサルモノトス」ト斯ウ改正ヲ致スノデアリマスカラ、唯、七ノ字ヲ八ノ字ニ變ヘルダケノコトデアリマスノデ、法文ノ關係カラ言ヘバ是程簡單ナルモノハナイノデアリマスガ、(拍手)改正ノ目的ハ、毎年一千萬圓宛ノ金ヲ支出致シマシテ、恵久的ニ今、日本ノ政界ノ大問題トナク居リマスル地方費ノ負擔ヲ輕減ラシテ、教育ノ改善ニ資スルト云モノニ在ルノデアリマスカラシテ、其關係ヲ致シマスル所ハ重且ツ大デ、非常ニ緊要ノ法案ニ是ガナル譯デアリマス、委員會ハ付託ノ翌日即チ五月ノ一日ニ委員長理事ノ選舉ヲ致シマシタ、山林儀重君、林平馬君、倉元要一君、寺田市正君方理事ニ當選ヲサレマシタ、引續イテ爾來三日間、長時間ニ瓦ツテ熱心ニ研究ヲ積ンダ譯デアリマス、私ガ御報告申上ゲマスト、唯、平凡ニシカ聞エナイノデアリマスケレドモ、實際ハ火ノ出ルヤウナ質問應答ガ行ハレマシテ、慎重ニ研究ヲサレタ譯デアリマス、其間ニ於キマシテ倉元君、武田君、山下君、藤井君、服部君、岡田君、大口君、山崎君、安藤君、寺田君ノ各委員ト、田中文部、井上大藏、安達内務、町田農林ノ各大臣、及野村、次田、藤井、平野ノ各政府委員ノ間ニ、熱心ニ質問應答ヲサレタノデアリマスカラ、私ハ是等ノ質問應答ヲ極く簡單ニ要約ヲ致シテ、此際御紹介申上ゲタイト思フノデアリマス、先づ第一ニ本案ノ國庫負擔金ノ増額ハ、市町村義務教育費國庫負擔法ノ制定ノ本トナリマシタ臨時教育會議ノ建議、即チ意ニ背反スルモノデハナイカト云フコトガ、

根本ノ問題トシテ論議サレ、實間問題答サレタノデアリマス、此建議案ニハ御承知ノ通り、市町村立小學校教員俸給ノ、國庫及市町村ノ連帶支辨スペキ國庫支出金ハ、右教員俸給ノ半額ニ達セシムベシト、斯ウ云フコトガ建議案ニ書イテアルノデアリマス、是方基礎ニナリマシテ、現在ノ國庫負擔法ガ成立ヲ致シタノデアリマスガ、此ノ趣意ニ背反ハシヤシナイカト云フコトノ問題方深刻ニ論議サレタノデアリマス、此點ニ對シ政府ハ、臨時教育會議ノ趣意ハ、必ズシモ半額以上國庫ノ負擔ト爲スベシトモフ趣意ニ限定シタモノデハナイ、少クトモ半額マデハ國庫ニ於テ負擔セヨト云フ趣意ニ解釋スルコトヲ至當ト考ヘル、現ニ是マデ國庫ノ負擔金ガ七千五百万圓ノ時、即チ昭和元年度ハ七千五百万圓デアッタノデモ矢張負擔金ハ七千五百万圓ノ時デアリマスガ、其割合ハ五割五分ニ當テ居タノデアッテ、即チ半額以上國庫ガ負擔ヲ致シテ居タノデアル、其後ニ教員俸給ガ増額シタル爲ニ、今日デハ五割以下ニ低下フ致シテ居ルカラシテ、今回一千万圓ヲ増額スルト、丁度ソレガ五割四分ニ當ルモノデアッテ、即チ五割四分ニ復舊ヲスル勘定ニナル譯デアルカラ、趣旨ニ衝突ノ問題ハ起ラナイト思フト、斯ウ云フ答辯デアリマシタ

事情ヲ比較研究シテ之ヲ決行スルノデアル、謂ハマ理想ト言フベキモノニアツテ、現在ノ問題デハナイ、現在ノ問題ハ一千万圓ノ増額ニアルノデアル、一千万圓ノ増額ハ、其分配交付ノ率ヲ現行法ノ通りニ實行スルノデアルカラシテ、現在最高ノ交付金、即チ九割以上ノ交付金ヲ受ケテ居ル貧弱町村モ、矢張其率ニ依シテ交付金ヲ受クルコトニナルノデアルカラシテ、今回ノ分ハ決シテ貧弱町村ヲ無視シテ、富裕ノ町村バカリノ利益トナル譯ハナイ、全般ノ利益トナリ、殊ニ貧弱町村ハ一層利益ヲ受クル關係ニナルノデアル、將來ニ於キマシテ更ニ之ヲ増額シ得ラル、ヤウナ時ガ來レバ御尋ノ問題ガ起ルカラ、其時ハ更ニ適當ノ方法ヲ考慮ヲシヨウ、斯ウ云フ答辯デアシタノデアリマス

第三ニハ政府ハ今回ノ交付金ヲ以テ全部戸敷税、家屋税ノ附加税、其他ノ負擔ノ輕減ヲスルト言シテ居ルケレドモ、交付金ノ増額ハ地方費ノ膨脹ヲ招來スルノミデアツテ、負擔ノ輕減ハ出來ヌト思フガドウカ、此點ニ對シマシテハ、國民精神ノ緊張ト、政府ノ監督ト相俟シテ必ず實行ガ出來ルト確信ヲスルト、内務大臣ハ確言ヲ致サレタノデアリマス

第四ニ國民ハ地方費ノ財源ヲ希望シテ居ルケレドモ、教育費ニ因ル負擔輕減ヲ希望ヲシテ居ラヌ、是ガ實際ノ實情デアルト云フ御質問ガアツクアリマスガ、之ニ對シマシテ、政府ハ津々浦々マデ負擔金ノ増額ヲ要望シテ居ルノガ實情デアル、事實デアル、殊ニ全國ノ市町村長ハ、過日伊勢ノ大神民意齋ノ一端ヲ知ルコトガ出來ルデハナイカ、斯ウ云フ答辯デアツクアリマス

其二ガ財源ニ關係スル質問應答デアリマスガ、第一ハ昭和五年度ノ追加豫算ニ現レ

タル所ノ此一千万圓ノ増加ノ金額ハ、是非無論經常歳出デアリマスガ、ソレニ拘リマセズ、此臨時歳入デアル所ノ剩餘金ヲ其財源ニ致シテ居ル、之ニ依リマンシテ歳入ニ缺陷ノアルコト、又此施設ガ不確實デアルコトヲ、此一點カラ見テモ明ニ證明ヲスルコトガ出來ルデハナイカ、斯ウ云フ質問ガアッタノデアリマスガ、之ニ對シマシテ政府ハ、追加豫算ニ於テハ經常歳出ニ屬スルモノデモ、剩餘金ヲ財源トスルハ、豫算編成技術ニ關スル常例デアッテ、是迄モ大抵共通リニヤツテ居ルノデアル、併シ實際、實質ニ於テハ概計表ニ示シテアリマスルガ如ク、昭和五年度ノ經常歳入ハ十五億圓デアリ、經常歳出ハ十二億圓デアル、此十二億圓ノ中ニ包含シテ致シテ居ルノデアルカラシテ、今回ノ此増額ノ金額ガ、唯臨時歳入ヲ財源トシテ計畫ヲ立て、居ルモノデハ斷ジテナイ、昭和六年以後ニ於テモ同様デアッテ、少シモ此増額ノ財源ニ付テハ不安ガナインデアル、斯様ニ答辯ヲサレタノデアリマス



此問題ノ解決ニ非常ニ力ヲ注イデ、殆ド死物狂ニナツテ居ルト云フ其御所見ヲ私ハ伺ヒタイト考ヘルノデアリマス

全額負擔ノ主義ヲ採ル以上ハ、文政審議會ノ議ニ付スルナリ、其他相當ノ手續ヲ執ルベキモノデハナイカト云フ御趣意デアリマス、全額負擔ノ主義ヲ政府ハ支持ハ致シテ居リマス、併ナガラ之ヲ將來實現スル爲ニハ其時々ノ財政ノ緩急ヲ圖リ、又社會上、經濟上、總テノ問題ヲ綜合研究致シマシテ、年々財政計畫ヲ立テル場合ニ於テ之ヲ決定スルモノデアリマス、隨テ今日現實ノ問題ニナツテ居リマスモノハ全額負擔ノ問題デアリマス、此程度ニ於テハ未ダ文政審議會ノ諸問ニ掛ケル程度ノモノニ非ズト確信ヲ致願フ範圍ハ、一千万圓ノ増額ノ案ダケデアリマス、將來全額負擔ト云フコトヲ具體化シテ法律案ヲ出斯時ニ於テハ、只今ノ如キ御質問モ起ルデアリマセウ、今日ノ程度ニ於テハ左様ナルコトヲ政府ハ考ヘル必要ハナイト思ヒマス

隨テ第二問ニ對シテモ同様ノ趣意ヲ以テ御答スルコトガ出來マス、第二問ノ目的ハ全額負擔ヲ實行シタ場合ニ於ケル教員ノ資格、其他身分上ノ問題等ニアッタノデアリマス、是ハ全額負擔ヲ實行スル時ノ問題デ、今日ハマダ問題ニハナツテ居リマセヌ

第三ノ財源ノ問題ニ對シテハ、是ハ大藏大臣ヨリ答辯ガアラウト存ジマス

第四ノ救護法ノ問題、是ハ救護法ノ實行ハ私モ其必要ヲ十分ニ認メル、併ナガラ此特別議會ニ於テハ先以テ全國民ノ最モ要望

◎國務大臣(井上準之助君) 義務教育費ノ  
國庫負擔ノ財源ニ付テノ御尋デアリマシタ  
ガ、其中ニ保険會社ノ納付金、是ハ三百五  
十五万圓アリマスガ、只今將來ノコトニ付  
テノ御尋ガアリマンシタガ、是迄ハ皆下闈堂

ナク、ズット返済方出来テ居リマス、今後ニ  
於キマンシテモ間違ナク必ズ入ルト思テ居  
ル次第アリマス、尙本震災地ノ貸付金ノ  
償還金ノ御質問ガアリマシタガ、是ハ總額  
デ年々千百万圓アリマス、其中デ確ニ取レ

ルト思、タケノモノヲ一百七十万圓程此  
昭和五年度ニ入レテアリマスカラ、是ハ必  
ズ回収ガ出来ルト確信シテ居リマス、總額  
全部入レタ譯デハナイノデアリマシテ、其  
申デ拾ヒ上ガテ確ニ償還ノ出来ルモノダケ  
ヲ入レタノデアリマスカラ、サウ御承知ヲ

頗<sup>タ</sup>テ置キマス、ソレカラ公共團體ニ對スル  
外債ノ利息ノ補給ト云フヤウナ問題ガアリ  
マシタガ、是ハ各公共團體ノ財政ノ整理如  
何ヲ見マシテ、サウシテ此昭和六年度ニ於  
テ考究スル積リデアリマスカラ、サウ御承  
印アヘンテ置キマス

〔驚野米太郎君登壇〕

デアリマスケレドモ、其根本ノ問題ニ付テ  
若シ總理大臣ノ御答ガ本當ニ總理大臣ノ御  
考デアルトスルナラバ、總理大臣ハ此問題

シテ居ル所ノ（ノリ〈柏手）教育費ノ曾

ノ重要性ト云フモノヲ御認メニナツテ居ラ

# 營業收益稅ノ委譲ノ問題ニ下ウ云フ態度

ナイデ、餘り之ヲ簡単ニ考へ過ギテ居ノデゴザイマス、苟モ國庫全額負擔主義ヲ採ルト云フコトヲ委員會ナリ其他ニ於テ之ヲ聲明シタ以上ハ、ソレニ對シテ適法ナル所ノ處置ヲ執ルテ、此問題ノ解決ニ當ラナケレバナラヌト考ヘルノデアリマス、寧ロ私ヲシテ言ハシムレバ、此問題ハ一千万圓ノ増額ノ法律案トセズニ、根本ノ問題トシテ

小學校教員ノ俸給ハ全部國庫カ負担スルト  
云フ、其法律ヲ作ラナケレバナラヌモノト  
私ハ考ヘルノデアリマス、ソレヲ姑息ニ、  
單ニ一千万圓ノ増額トシテ提案ヲシテ、サ  
ウシテ色々ト非難批評ガアルト云フト、説  
明ノ都合ヤ、其爲ニ全額負擔主義ヲ採ルト

カ云フヤウナコトヲ仰シヤルノデアリマス  
ルケレドモ、餘リ是ハ彌縫ニ過グルト考ヘ  
ルノデアリマス、一體濱口内閣ハ總テノ間  
題ニ付テ日頃ハ民衆ニ對シテハ如何ニモ合  
理的ニ、論理的ニ、民衆ニ對シテ色々ノ聲

ニ乏シイ嫌ガアル、例ハ軍備縮小ニ關スル  
ル、陸軍ノ整理ニ關スル問題デアッテモ、行  
政整理ノ問題デアッテモ、減税ニ關スル問  
題デアッテモ、其他ノ問題ニ付テモ總ニサ

◎議長<sup>藤澤幾之輔君</sup> 注意シマス、鷲野ト云フ、ト云フト、樞密院ヲ彈劾シテ、サウシテ樞密院ノ改革ヲヤラナケレバナラヌト云フノハ、民政黨ノ諸君ガ……  
（拍手、發言スル者多シ）

君——鷲野君、議題外ニ涉ラヌヤウニ……  
◎鷲野米太郎君(續) 議長ノ注意ガアッタ  
カラ其問題ハ止シマスガ、兎ニ角勇斷ヲ缺  
キ、サウンテ色々ト世間ノ非難トカ、攻撃  
トカ、或ハ障碍ヲ恐レテ、事勿レ主義ナヤ

ルカラ、斯ウ云ノ問題ニ打突カルノテアリ  
マス、教育費國庫負擔ノ問題ト云フコトハ、  
決シテ簡単ナ問題デナイ、民政黨ハ地租及

營業收益稅ノ委譲ノ問題ニ下ウ云フ態度

ヲ執ッタカ、其態度ガ善イトカ惡イトカ云フ  
コトハ別トシテ、アレ程非常ナル努力ヲシテ、  
サウシテ非常ナル論戰ヲ闘ハシテ、到  
頭貴族院ニ於テ握リ潰シヲンタデハナイカ、  
ソレニ此義務教育費國庫負擔ノ問題ト云  
フモノハ、吾々ノ立場カラハ十分慎重審議  
ヲ盡サナケレバナラヌ、委員會ノ皆サンハ  
努力ヲ爲サレタノデアルガ、私ハモウ一步

御質問デアリマシタガ、是ハ初メノ答辯ニ依テ十分ニ御了解ガ出来テ居ル筈アリマス、是以上答辯スル必要ハアリマセヌ、ソレニ附帶シテ樞密院ガ何デアルトカ、種種ノコトガアリマシタガ、是ハ問題外、答

◎議長(慈澤幾之輔君)　是ヨリ討論ニ入り  
マス、岡田忠彦君

〔岡田忠彦君登壇〕

ハ、殆ド總テ輕卒不謹慎ノ至リデアルニ依テ、政府ハ再ビ之ヲ編成替ラ致シテ提出アルベシト云フ意見ヲ出シタノデアリマス、私ハ其當然ノ歸趨トシテ、本案ニ對シテハ反對、否決ノ意見ヲ述べタイト思フノデゴザイマス（拍手）比千万圓ノ國庫負擔金ノ曾無

ニ付テハ、其財源論ニ付テ昨日同志ヨリ詳  
細盡シテアリマス、私ハ重複ヲ避ケタイノ  
デアルガ、聊カ違タ方面ヨリ此財源論ニ  
付テ意見ヲ述ベテ見タイト思ヒマス  
曩ニ委員會ニ於我黨同志ヨリ斯ル恒久

的ノ財源ニ對シテ乗餉金ヲ以テ之ニ隣ムト云フコトハ、甚ダ本末ヲ誤テ居ルデハナカト云フコトヲ質問ヲ致シタ所ガ、大藏

大臣ハ待講ヘテ居タト云フヤウナ顔色ヲ  
サレマシテ、何ト言ツカ、即チ實行豫算ノ  
概計表ニ於テ收支ノ計算ハ明カニナクテ居  
ル、其均衡ヲ得テ居ルニ依テ、何モ心配ス  
ルコトハナイト云フ御答辯デアッタノデア  
リマス、然ラバ其概計表ノ提出ヲ求メテ之  
ヲ拜見スルト云フト、一枚ノ紙デアル、而  
モ此概計表ナルモノハ此備考ニ書イテアル  
通りニ、別表ハ大體ノ計算ヲ示シテ参考ニ  
供スルモノデアルト云フコトハ、備考ニ書  
イテアル、苟モ恒久ノ財源ニ瓦ル重大ナル  
財源ヲ論ズルニ當テ、此簡單ナル、一片ノ  
概計表ヲ以テ、吾々ハ信ズルコトハ斷ジテ  
出來ナイノデアリマス、ノミナラズ平常ノ  
場合ニ於テハ、或ハ此概計表ヲ以テ多少ノ  
論據ト爲シ得ルデアリマセウ、然レドモ今  
日ハ如何ナル時デアルカ、即チ政府ガ極端  
ナル緊縮ノ政策ヲ斷行致シテ、經濟界ハ異  
常ノ萎縮ヲ來シテ居ルデアリマセウカ、  
此異常ノ時ニ當テ、十年間ヲ見通シテ居ル  
所ノ此概計表ヲ以テ、何ガ根據トナルノデ  
アリマスカ、私ハ斯ル空漠タル概計表ヲ以  
テ、各市町村ノ恒久財源ヲ作ル所ノ議論ノ  
根據トサレルト云フコトハ、甚ダ大藏大臣  
ノ常識ヲ疑フノデアリマス(拍手)即チ政府  
ガ昭和四年度ノ帝國議會ノ意見ヲ以テ確立  
致シタ所ノ豫算ヲ、其自己ノ權ニ依テ勝  
手ニ削除切捨ヲ加ヘテ置不テ、其實行豫算  
ナルモノヲ基調トシテ、而モ此經濟界ノ不  
景氣ノ眞唯中ニ於テ、ソレヲ根據ト致シテ、  
十年間ノ計算ヲ立テルト云フコトハ、是程  
無謀ナコトハナインデアル、故ニ吾々ハ此  
詳シク政府ノ意見ヲ求メタノデアルナレド  
モ、少シモ首肯スペキ所ノ材料ヲ得ルコト  
ガ出來ナイノデアル、政府ハ歲入ノ見積替  
ヲ致スト申スノデアルナレドモ、吾々ノ見  
ル所ニ依レバ、其減額ニ屬スル部分ニ付テ

ハ、殆ド申譯的ノ減額ヲ加ヘテ置イテ、其  
收入ニ屬スル分ニ於テハ、或ハ專賣局ノ收入ニ  
於テ、或ハ森林ノ收入ニ於テ、或ハ所得ノ  
概計表ニ於テ居ルニ依テ、何モ心配ス  
ルコトハナイト云フ御答辯デアッタノデア  
リマス、然ラバ其概計表ノ提出ヲ求メテ之  
ヲ拜見スルト云フト、一枚ノ紙デアル、而  
モ此概計表ナルモノハ此備考ニ書イテアル  
通りニ、別表ハ大體ノ計算ヲ示シテ参考ニ  
供スルモノデアルト云フコトハ、備考ニ書  
イテアル、苟モ恒久ノ財源ニ瓦ル重大ナル  
財源ヲ論ズルニ當テ、此簡單ナル、一片ノ  
概計表ヲ以テ、吾々ハ信ズルコトハ斷ジテ  
出來ナイノデアリマス、ノミナラズ平常ノ  
場合ニ於テハ、或ハ此概計表ヲ以テ多少ノ  
論據ト爲シ得ルデアリマセウ、然レドモ今  
日ハ如何ナル時デアルカ、即チ政府ガ極端  
ナル緊縮ノ政策ヲ断行致シテ、經濟界ハ異  
常ノ萎縮ヲ來シテ居ルデアリマセウカ、  
此異常ノ時ニ當テ、十年間ヲ見通シテ居ル  
所ノ此概計表ヲ以テ、何ガ根據トナルノデ  
アリマスカ、私ハ斯ル空漠タル概計表ヲ以  
テ、各市町村ノ恒久財源ヲ作ル所ノ議論ノ  
根據トサレルト云フコトハ、甚ダ大藏大臣  
ノ常識ヲ疑フノデアリマス(拍手)即チ政府  
ガ昭和四年度ノ帝國議會ノ意見ヲ以テ確立  
致シタ所ノ豫算ヲ、其自己ノ權ニ依テ勝  
手ニ削除切捨ヲ加ヘテ置不テ、其實行豫算  
ナルモノヲ基調トシテ、而モ此經濟界ノ不  
景氣ノ眞唯中ニ於テ、ソレヲ根據ト致シテ、  
十年間ノ計算ヲ立テルト云フコトハ、是程  
無謀ナコトハナインデアル、故ニ吾々ハ此  
詳シク政府ノ意見ヲ求メタノデアルナレド  
モ、少シモ首肯スペキ所ノ材料ヲ得ルコト  
ガ出來ナイノデアル、政府ハ歲入ノ見積替  
ヲ致スト申スノデアルナレドモ、吾々ノ見  
ル所ニ依レバ、其減額ニ屬スル部分ニ付テ

ハ、殆ド申譯的ノ減額ヲ加ヘテ置イテ、其  
收入ニ屬スル分ニ於テハ、或ハ專賣局ノ收入ニ  
於テ、或ハ森林ノ收入ニ於テ、或ハ所得ノ  
概計表ニ於テ居ルニ依テ、何モ心配ス  
ルコトハナイト云フ御答辯デアッタノデア  
リマス、然ラバ其概計表ノ提出ヲ求メテ之  
ヲ拜見スルト云フト、一枚ノ紙デアル、而  
モ此概計表ナルモノハ此備考ニ書イテアル  
通りニ、別表ハ大體ノ計算ヲ示シテ参考ニ  
供スルモノデアルト云フコトハ、備考ニ書  
イテアル、苟モ恒久ノ財源ニ瓦ル重大ナル  
財源ヲ論ズルニ當テ、此簡單ナル、一片ノ  
概計表ヲ以テ、吾々ハ信ズルコトハ斷ジテ  
出來ナイノデアリマス、ノミナラズ平常ノ  
場合ニ於テハ、或ハ此概計表ヲ以テ多少ノ  
論據ト爲シ得ルデアリマセウ、然レドモ今  
日ハ如何ナル時デアルカ、即チ政府ガ極端  
ナル緊縮ノ政策ヲ断行致シテ、經濟界ハ異  
常ノ萎縮ヲ來シテ居ルデアリマセウカ、  
此異常ノ時ニ當テ、十年間ヲ見通シテ居ル  
所ノ此概計表ヲ以テ、何ガ根據トナルノデ  
アリマスカ、私ハ斯ル空漠タル概計表ヲ以  
テ、各市町村ノ恒久財源ヲ作ル所ノ議論ノ  
根據トサレルト云フコトハ、甚ダ大藏大臣  
ノ常識ヲ疑フノデアリマス(拍手)即チ政府  
ガ昭和四年度ノ帝國議會ノ意見ヲ以テ確立  
致シタ所ノ豫算ヲ、其自己ノ權ニ依テ勝  
手ニ削除切捨ヲ加ヘテ置不テ、其實行豫算  
ナルモノヲ基調トシテ、而モ此經濟界ノ不  
景氣ノ眞唯中ニ於テ、ソレヲ根據ト致シテ、  
十年間ノ計算ヲ立テルト云フコトハ、是程  
無謀ナコトハナインデアル、故ニ吾々ハ此  
詳シク政府ノ意見ヲ求メタノデアルナレド  
モ、少シモ首肯スペキ所ノ材料ヲ得ルコト  
ガ出來ナイノデアル、政府ハ歲入ノ見積替  
ヲ致スト申スノデアルナレドモ、吾々ノ見  
ル所ニ依レバ、其減額ニ屬スル部分ニ付テ

ハ、殆ド申譯的ノ減額ヲ加ヘテ置イテ、其  
收入ニ屬スル分ニ於テハ、或ハ專賣局ノ收入ニ  
於テ、或ハ森林ノ收入ニ於テ、或ハ所得ノ  
概計表ニ於テ居ルニ依テ、何モ心配ス  
ルコトハナイト云フ御答辯デアッタノデア  
リマス、然ラバ其概計表ノ提出ヲ求メテ之  
ヲ拜見スルト云フト、一枚ノ紙デアル、而  
モ此概計表ナルモノハ此備考ニ書イテアル  
通りニ、別表ハ大體ノ計算ヲ示シテ参考ニ  
供スルモノデアルト云フコトハ、備考ニ書  
イテアル、苟モ恒久ノ財源ニ瓦ル重大ナル  
財源ヲ論ズルニ當テ、此簡單ナル、一片ノ  
概計表ヲ以テ、吾々ハ信ズルコトハ斷ジテ  
出來ナイノデアリマス、ノミナラズ平常ノ  
場合ニ於テハ、或ハ此概計表ヲ以テ多少ノ  
論據ト爲シ得ルデアリマセウ、然レドモ今  
日ハ如何ナル時デアルカ、即チ政府ガ極端  
ナル緊縮ノ政策ヲ断行致シテ、經濟界ハ異  
常ノ萎縮ヲ來シテ居ルデアリマセウカ、  
此異常ノ時ニ當テ、十年間ヲ見通シテ居ル  
所ノ此概計表ヲ以テ、何ガ根據トナルノデ  
アリマスカ、私ハ斯ル空漠タル概計表ヲ以  
テ、各市町村ノ恒久財源ヲ作ル所ノ議論ノ  
根據トサレルト云フコトハ、甚ダ大藏大臣  
ノ常識ヲ疑フノデアリマス(拍手)即チ政府  
ガ昭和四年度ノ帝國議會ノ意見ヲ以テ確立  
致シタ所ノ豫算ヲ、其自己ノ權ニ依テ勝  
手ニ削除切捨ヲ加ヘテ置不テ、其實行豫算  
ナルモノヲ基調トシテ、而モ此經濟界ノ不  
景氣ノ眞唯中ニ於テ、ソレヲ根據ト致シテ、  
十年間ノ計算ヲ立テルト云フコトハ、是程  
無謀ナコトハナインデアル、故ニ吾々ハ此  
詳シク政府ノ意見ヲ求メタノデアルナレド  
モ、少シモ首肯スペキ所ノ材料ヲ得ルコト  
ガ出來ナイノデアル、政府ハ歲入ノ見積替  
ヲ致スト申スノデアルナレドモ、吾々ノ見  
ル所ニ依レバ、其減額ニ屬スル部分ニ付テ

アル、國家ノ權利デアル、其金ガ凡ソ年々  
一千四百万圓アルノデアルガ、大臣ハ此金ヲ  
何處カラ生出サウト致シテ居ルカ、此全額  
致シテ居ルコトハ、是ハ明瞭デアル、吾々ハ  
減額ト云フモノヲ幾ラ少ク見積テモ、四五  
千萬圓ノ減額ト云フモノハ確ニアル、今日  
各會社ガ悉ク爭フテ其減額ヲ致シテ居リ、  
或ルモノハ減俸ヲ致シテ居ルト云フ、此時  
代ノ趨勢ヲ捉ヘテ見テモ、如何ニ我國ノ租  
稅ガ今年度ニ於テ、又來年度ニ於テ減ズベ  
キモノデアルト云フコトハ、何モ大藏大臣  
ヲ俟タヌデモ、常識ヲ以テ容易ニ之ヲ判断  
スルコトガ出來ルト思フノデアル、デ政府  
ハ此概計表ニ於テ、將來ノ財源ハ何處ニ求  
メルカト云フコトヲ見ルト、昭和六年度ニ  
於テ僅ニ五十五万圓ノ剩餘金ヲ殘シテ居ル  
ヤウデアル、差引ノ残ガアルヤウデアル、七年  
度ニ於テハ六十餘万圓アル、八年度ニ於テ  
ハ八十餘万圓、僅ニ此少シバカリノ財源ヲ  
以テ、將來ノ事業ニ當ラント致シテ居ルノ  
デアル、果シテ政府ハ今日ノ緊縮ノ政策ナ  
ルモノヲ、十年間ニ亘テ之ヲ断行セント  
トル勇氣ガアルノデアルカ、若シ其緊縮  
ノ政策ヲ断行シ得ルトスルナラバ、將  
來ニ於ケル財源ハ何處ニ之ヲ求メルノデ  
アリマスカ、ノミナラズ先程鶴野君ノ財源ヲ  
質問ニ對シテ大藏大臣ノ御答辯デアッタ  
ノ政策ヲ断行シ得ルトスルナラバ、將  
來ニ於ケル財源ハ何處ニ之ヲ求メルノデ  
アリマスカ、隣邦支那ニ於テハ、左様ナ事  
實ガアルケレドモ、我ガ帝都ノ眞中ニ於テ、  
斯様ナ公債ノ利子ヲ又公債ヲ以テ拂フト云  
フ、斯様ナ醜體ヲ演ジテ居ル、之ヲ放任シ  
テ置イテ、翻テ千万圓ト云フ不確定ナル財  
源ヲ捻出しシテ、市町村ニ波スト云フコトハ  
私ハ緩急ノ度ヲ全ク誤テ居ルモノデアル  
ト信ズルノデアリマス、斯ノ如ク致シテ、  
兩市ノ利子補給ハ七八百万圓ニ年々瓦ルモ  
ノト思フ、又各公團體、保險會社、私立學  
校ニ對スル貸金ノ償還金モ、年々蓋シ千四五  
萬圓、是ガ確實デアルト云フコトデアル、  
モノハ、國家ガ契約ヲ以テ之ヲ貸シテ居ル  
タナラバ、此二千三百万圓ノ昭和六年以  
後ニ於ケル缺陷ハ、如何ニシテ之ヲ補フノ  
デアリマスカ、之ヲ補ハナケンバナラヌト  
スレバ、市町村ノ千萬圓ハ如何ニシテ出サ  
ントスルノデアリマスカ、其權衡ヲ考へ、  
國家ノ權利ノアルコトヲ考へタナラバ、私

ハ此一事ヲ以テシテモ如何ニ政府ノ財政ニ  
對スル將來ノ見込ガ薄弱デアルカ、確信ガ  
アル、假ニ數百歩ヲ讓テ、政府ハ將來ニ  
ナイカト云フコトハ明瞭デアルト思フノデ  
アル、假ニ國家ノ收入ニ吳リ得ルト云フ確信  
テ、確ニ國家ノ收入ニ吳リ得ルト云フ確信  
テ持ッテ居ラレルカ、是亦常識ヲ以テシタナ  
ラバ、サウ云フヤウナ確信ヲ持ツコトハ斷  
じテ出來ヌト私ハ思フノデアリマス、又東  
京市及ビ横濱市ノ外債ノ利子ノ補給、新聞  
ニ依テ見テモ、屢々兩市ノ市長ガ大藏大臣  
及ビ總理大臣ニ商謁ヲ致シテ、其利子補給  
ヲ求メタ、此兩市ノ今日ノ財政ノ狀況ヲ見  
テナラバ、利子ノ補給ヲ求メルト云フコト  
ハ、是ハ已ムヲ得ナイ、然ルニ拘ラズ大藏  
大臣ハ、マア將來ヲ待テ居レ、此次ノ豫算  
ヲ考ヘテヤルト云フ位ノ生温イ返事ヲ致シ  
テ、遂ニ此緊急ナル所ノ利子ノ補給ヲ、此  
ハ、是ハ已ムヲ得ナイ、然ルニ拘ラズ大藏  
大臣ハ、マア將來ヲ待テ居レ、此次ノ豫算  
ヲ考ヘテヤルト云フ位ノ生温イ返事ヲ致シ  
テ、遂ニ此緊急ナル所ノ利子ノ補給ヲ、此  
ニ議スベキモノデアルカドウカト云フコト  
ヲ考ヘタナラバ、甚ダ疑ヲ存スルモノガ多  
如クニ、日本ノ最モ大ナル都會デアリ、帝  
都デアル東京市其モノガ、利子ノ補給ヲセ  
ンガ爲ニ、又更ニ市債ヲ募シテ其利子ヲ補  
給カナケレバナラヌ、斯様ナ狀況デハア  
リマセウカ、隣邦支那ニ於テハ、左様ナ事  
實ガアルケレドモ、我ガ帝都ノ眞中ニ於テ、  
斯様ナ公債ノ利子ヲ又公債ヲ以テ拂フト云  
フ、斯様ナ醜體ヲ演ジテ居ル、之ヲ放任シ  
テ置イテ、翻テ千万圓ト云フ不確定ナル財  
源ヲ捻出しシテ、市町村ニ波スト云フコトハ  
私ハ緩急ノ度ヲ全ク誤テ居ルモノデアル  
ト信ズルノデアリマスカ、隣邦支那ニ於テハ、  
左様ニ血眼ニナッテ提案サレルカト云フコ  
トノ趣旨ガ頓ト分ラナイ、井上大藏大臣  
カ、又中小商工業者ニ低利資金ノ供給ハド  
ウナツタノデアルカ、斯様ナル事ヲ考へ來ル  
ト云フ、政府ハ何ノ爲ニ此千万圓ノミヲ  
モハアルノデアル、失業ノ保險ハドウナ  
テ居ルカ、軍縮會議ハドウナツタノデアル  
カ、又中小商工業者ニ低利資金ノ供給ハド  
ウナツタノデアルカ、斯様ナル事ヲ考へ來ル  
ト云フ、政府ハ何ノ爲ニ此千万圓ノミヲ  
カト云ヘバ、如何ニモ諸君ノ御質問ノ如ク  
ニ、財源ハ是シカナイ、將來ノ急ニ應ズル

場合ニハ國費ヲ減ジテ、モ此辻接ヲ合ス積リデアルト、斯様ナル大膽ナルコトヲ仰セラレテ居ルノデアルガ、而リ大ナル事業ニ向テ如何ニ爲スカト云フコトノ、經緯抱負ノ少シモナイト云フコトハ、甚グ私ハ我ガ帝國ノ大藏大臣トシテ遺憾ニ思フノデアル(拍手)

ノミナラズ茲ニ一つノ見逃スペカラザルコトハ、法律ヲ改正致シテ市町村ノ補助金ヲ増サウト試ミルノデアル、今回ノ此法律ヲ以テ國家ヲ拘束スペキ所ノ重大ナル案件ト云フモノヲ、何等ノ確信アル所ノ根據モナク——財源ニ於テノミナラズ全額負擔ト云フ、將ニ來ルベキ其大ナル問題ニ付テ、何等ノ確信モナクシテ此法律案ヲ出シテ、國家ニ八千五百万圓ト云フ拘束ヲ加ヘルト云フコトハ、私ハ國家ニ對シテ非常ニ不忠ナルモノデアルト斷言シテ憚ラナイモノデアル(拍手)

更ニ一轉ヲ致シテ、此千万圓ト云フモノヲ、假ニ地方ニ配給ヲ致シタトシタナラバ、如何ナル結果ガ起ルカト云フコトヲ研究シテ見タイ、政府ハ今回ノ一千萬圓ニ限り、之ヲ教員ノ増俸其他ノ費目ニ流用ハ許サナイ、偏ニ之ヲ以テ町村ノ家稅若クハ戸數割、其他ノ稅率ノ輕減ニ充テシメル積リデアル、斯様ニ申シテ居ルノデアル、而シテ此基ク所ハ勅令ノ規定ニ依リテ其使途ヲ命ズルコトガ出來ル、此勅令ノ規定ニ依ツテ、他ノ仕事ニハ用ヒラレナイ、必ズ稅率ノ輕減ニ充テロト云フコトヲ命ズルト云フコトノ屢々明言サレテ居ルノデアルガ、是ガ若シ左様ナ趣旨デアタナラバ、何處ニ教育ノ改善ト云フ趣旨ガ範レルカト云フコトヲ問ヒタルコトヲ聞イテ見タイノデアル、ノミナラズ政府ハ此千万圓ヲ以テ專ラ地方稅ノ輕減ニ當テルト云フノデアルガ、今日全國一万

三千ノ町村ハ、如何ナル狀況ニ居ルカト云フコトヲ研究シテ見タイノデアル、今日政府ハ法令若クハ法令以外ノ強壓ヲ用ヒテ、豫算ノ緊縮ヲ行ハレテ居リマス、既ニ緊縮コトハ、既ニ稅率ノ減額ヲ行シテ、年度半バナク——財源ニ於テノミナラズ全額負擔ト云フカ、將ニ來ルベキ其大ナル問題ニ付テ、何等ノ確信モナクシテ此法律案ヲ出シテ、國家ニ八千五百万圓ト云フ拘束ヲ加ヘルト云フコトハ、私ハ國家ニ對シテ非常ニ不忠ナルモノデアルト斷言シテ憚ラナイモノデアル(拍手)

日本全國ノ戸數ハ千二百万戸デアル、千二百万戸ヲ以テ千万圓ヲ割レバ明瞭デアル、即チ一戸平均僅ニ八十錢ニシカナラヌ、其僅カ八十錢ノモノヲ、之ヲ現在ノ率ニ依テ配給致スト、市ニ於テハ僅ニ三十錢、貧弱ナル町村ニ於テモ蓋シ一圓ヲ超サヌデアラウト思フノデアル、此僅カノ金ヲ配給ヲ致シテ、結局或ル町村ニ於テハ僅ニ二十圓、或ハ三十圓位シカ增額トナリマセヌ、二十圓ノ増額ハ、僅ニ町村役場ノ人ノ新年宴會ニモ足ラヌデハナイカ、左様ナコトヲ大キナ聲ヲシテ、町村財政ノ輕減ナド、云フコトハ、所謂羊頭ヲ懸ケテ狗肉ヲ賣ルモノデアルト私ハ斷言セザルヲ得ナイノデアル、斯様ニ申シテ居ルノデアル、而シテ此基ク所ハ勅令ノ規定ニ依リテ其使途ヲ命ズルコトガ出來ル、此勅令ノ規定ニ依ツテ、他ノ仕事ニハ用ヒラレナイ、必ズ稅率ノ輕減ニ充テロト云フコトヲ命ズルト云フコトノ屢々明言サレテ居ルノデアルガ、是ガ若シ左様ナ趣旨デアタナラバ、何處ニ教育ノ改善ト云フ趣旨ガ範レルカト云フコトヲ問ヒタルコトヲ聞イテ見タイノデアル、ノミナラズ政府ハ此千万圓ヲ以テ專ラ地方稅ノ輕減ニ當テルト云フノデアルガ、今日全國一万

三千ノ町村ハ、如何ナル狀況ニ居ルカト云フコトヲ研究シテ見タイノデアル、今日政府ハ法令若クハ法令以外ノ強壓ヲ用ヒテ、豫算ノ緊縮ヲ行ハレテ居リマス、既ニ緊縮コトハ、既ニ稅率ノ減額ヲ行シテ、年度半バナク——財源ニ於テノミナラズ全額負擔ト云フカ、將ニ來ルベキ其大ナル問題ニ付テ、何等ノ確信モナクシテ此法律案ヲ出シテ、國家ニ八千五百万圓ト云フ拘束ヲ加ヘルト云フコトハ、私ハ國家ニ對シテ非常ニ不忠ナルモノデアルト斷言シテ憚ラナイモノデアル(拍手)

日本全國ノ戸數ハ千二百万戸デアル、千二百万戸ヲ以テ千万圓ヲ割レバ明瞭デアル、即チ一戸平均僅ニ八十錢ニシカナラヌ、其僅カ八十錢ノモノヲ、之ヲ現在ノ率ニ依テ配給致スト、市ニ於テハ僅ニ三十錢、貧弱ナル町村ニ於テモ蓋シ一圓ヲ超サヌデアラウト思フノデアル、此僅カノ金ヲ配給ヲ致シテ、結局或ル町村ニ於テハ僅ニ二十圓、或ハ三十圓位シカ増額トナリマセヌ、二十圓ノ増額ハ、僅ニ町村役場ノ人ノ新年宴會ニモ足ラヌデハナイカ、左様ナコトヲ大キナ聲ヲシテ、町村財政ノ輕減ナド、云フコトハ、所謂羊頭ヲ懸ケテ狗肉ヲ賣ルモノデアルト私ハ斷言セザルヲ得ナイノデアル、斯様ニ申シテ居ルノデアル、而シテ此基ク所ハ勅令ノ規定ニ依リテ其使途ヲ命ズルコトガ出來ル、此勅令ノ規定ニ依ツテ、他ノ仕事ニハ用ヒラレナイ、必ズ稅率ノ輕減ニ充テロト云フコトヲ命ズルト云フコトノ屢々明言サレテ居ルノデアルガ、是ガ若シ左様ナ趣旨デアタナラバ、何處ニ教育ノ改善ト云フ趣旨ガ範レルカト云フコトヲ問ヒタルコトヲ聞イテ見タイノデアル、ノミナラズ政府ハ此千万圓ヲ以テ專ラ地方稅ノ輕減ニ當テルト云フノデアルガ、今日全國一万

三千ノ町村ハ、如何ナル狀況ニ居ルカト云フコトヲ研究シテ見タイノデアル、今日政府ハ法令若クハ法令以外ノ強壓ヲ用ヒテ、豫算ノ緊縮ヲ行ハレテ居リマス、既ニ緊縮コトハ、既ニ稅率ノ減額ヲ行シテ、年度半バナク——財源ニ於テノミナラズ全額負擔ト云フカ、將ニ來ルベキ其大ナル問題ニ付テ、何等ノ確信モナクシテ此法律案ヲ出シテ、國家ニ八千五百万圓ト云フ拘束ヲ加ヘルト云フコトハ、私ハ國家ニ對シテ非常ニ不忠ナルモノデアルト斷言シテ憚ラナイモノデアル(拍手)

日本全國ノ戸數ハ千二百万戸デアル、千二百万戸ヲ以テ千万圓ヲ割レバ明瞭デアル、即チ一戸平均僅ニ八十錢ニシカナラヌ、其僅カ八十錢ノモノヲ、之ヲ現在ノ率ニ依テ配給致スト、市ニ於テハ僅ニ三十錢、貧弱ナル町村ニ於テモ蓋シ一圓ヲ超サヌデアラウト思フノデアル、此僅カノ金ヲ配給ヲ致シテ、結局或ル町村ニ於テハ僅ニ二十圓、或ハ三十圓位シカ増額トナリマセヌ、二十圓ノ増額ハ、僅ニ町村役場ノ人ノ新年宴會ニモ足ラヌデハナイカ、左様ナコトヲ大キナ聲ヲシテ、町村財政ノ輕減ナド、云フコトハ、所謂羊頭ヲ懸ケテ狗肉ヲ賣ルモノデアルト私ハ斷言セザルヲ得ナイノデアル、斯様ニ申シテ居ルノデアル、而シテ此基ク所ハ勅令ノ規定ニ依リテ其使途ヲ命ズルコトガ出來ル、此勅令ノ規定ニ依ツテ、他ノ仕事ニハ用ヒラレナイ、必ズ稅率ノ輕減ニ充テロト云フコトヲ命ズルト云フコトノ屢々明言サレテ居ルノデアルガ、是ガ若シ左様ナ趣旨デアタナラバ、何處ニ教育ノ改善ト云フ趣旨ガ範レルカト云フコトヲ問ヒタルコトヲ聞イテ見タイノデアル、ノミナラズ政府ハ此千万圓ヲ以テ專ラ地方稅ノ輕減ニ當テルト云フノデアルガ、今日全國一万

長ガ不適當ト認ムル場合ニ於テハ之ヲ削除スルノ権利ヲ持テ居タノデアル、ケレドモ幾ラ不適當ト認メテモ、其自治體ニ於テ正式ナル機關ノ決議ヲ經テ此事ヲ決メタ以上ハ、之ヲ削除スルコトガ出來ナイト云フ（拍手）然ルニモ拘ラズ先般ノ委員會ニ於テハ、専門家デアルト稱スル所ノ地方局長ニ於テスラ、自ラ此通牒ヲ出シテ置イテ、其内容ヲ知ラナカッタ云フコトハ、如何ニモ怠慢ノ至デアルト私ハ思フノデアル（拍手）斯様ニ致シテ地方ノ豫算ナルモノハ、若シカ之ヲ更正シ追加ヲスル場合ニ於テハ、臨時ノ府縣會、臨時ノ市町村會ヲ開イテ之ヲ付議シロト云フコトガ書イテアル、更正又ハ追加ヲ爲スコトヲ得ル、更正追加ヲ爲スニハ臨時議會ヲ招集センケレバナラナイト云フコトガ、此市町村制ノ成文デアルニ拘ラズ、其追加更正ノ手續ヲ執ラヌデモ宜イトモ宜イト云フコトヲ得ル、現政府ハ、現政府ハ、現政府ノ爲ス所ハ直ニ我國ノ自治制ノ大本ヲ崩スモノデアルト云フコトヲ圖何處ニ自治制度ノ精神ヲ重ンズル點ガアルカ、私ハ現政府ノ爲ス所ハ直ニ我國ノ自治制ノ大本ヲ崩スモノデアルナラバ、現政府ハ言シテ憚ラザル者デアリマス（拍手）ノミナラズ一万二千ノ町村、或ハ減稅ヲ欲スル者アラン、或ハ小學校教員ノ増俸ヲ欲スル者アラン、或ハ道路ノ修築ヲ欲スル者アラン、或ハ市町村ノ事情ニ應ジテソレ止メテシマッテ、安達内務大臣ノ言葉ニ依テ見レバ、活キタ政治ヲシタイ、千篇一律ニ自治ノ大本デアリ、地方分權ノ精神デハナカラウカ、然ルニ拘ラズ其事ヲスッカリアルカ、或ハ市町村ノ事情ニ應ジテソレゾレノ支出ニ當デルト云フコトガ活キタル政治デアルカ、是ハ能ク考ヘタラ直グ分ル事デアラウト私ハ思フノデアル、ノミナラズデアルカ、安達内務大臣ハ、又野村次官ニ於テモ、此安達内務大臣ハ、又野村次官ニ於テモ、此

義務教育費ノ國庫負擔ヲ爲スト云フコトハ  
天下ノ輿論デアル、殊ニ市町村長ガ伊勢ニ  
參集ヲ致シ、其決議ヲ致シタコトニ依テ見  
テモ、其輿論タルコトハ分ルト、斯様ナ意  
見デアタ、若シカ左様ナルコトヲ以テ直  
ニ輿論ト爲スノデアルナラバ、前政府ニ於  
テ兩稅委讓ヲ爲ス時ニ於テモ、全市町村長  
ハ決議ヲ致シ、之ニ賛成シタデハナイカ、  
凡ソ輿論ヲ見ル者ハ其形ヲ見テハナラヌ、  
ニ輿論ト爲スノデアルナラバ、前政府ニ於  
テ兩稅委讓ヲ爲ス時ニ於テモ、全市町村長  
ニ依ツテ、國庫ヨリ幾ラデモ補給ヲ受ケルト  
云フコト、其事ハ望ム所デアル、之ヲ教育費  
ノ根柢ニ在ル所ノ精神ヲ見タイノデアリマ  
ス、今日ノ町村ハ財政ノ窮乏ヲ致シテ居ル  
如キニ至ツテハ、此全額負擔ト云フモノハ全  
國ニ宣傳致シタ、ソレガ爲ニ吾々ハ二百七  
町村長ガ決議ヲ致シタ、或ハ又野村次官ノ  
如キニ至ツテハ、此全額負擔ト云フモノハ全  
國ニ宣傳致シタ、ソレガ爲ニ吾々ハ二百七  
十二名ノ多數ヲ得タノデアルト云フコトヲ  
ノ委譲ガ宜イカ、或ハ中央集權ノ主義ニ依ツ  
テ國庫ノ全額負擔ガ宜イカ、自ラ天下ノ正  
義ニ依ツテ決スルノ日ガアルト思フノデアル  
ル、ノミナラズ現政府ハ今回ノ法律案、今  
回ノ豫算案ヲ提出スルニ當ツテ、甚シク其誠  
意ヲ缺キ、甚シク確信ヲ缺イテ居ル點ガ多  
イノデアル、何故デアルカ、即チ只今驚異  
君ノ御質問ニアタ通リニ、又總理大臣ノ答  
辯ニ付テハ主義トシテ支持シテ居ルケレ  
ドモ、説明ノ限りデナイト、斯様ニ言ウテ居  
居ルト云フコトハ、私ハ首相ノ政治的良心  
ノ在ル所ヲ疑フ者デアル（拍手）

ル論争ヲ經ナケレバナラヌモノデアル、殊ニ屢々首相ノ引證サレル所ノ臨時教育會議、其會議ニ於テ如何ナル決議ヲ爲シテ居ルカ、私ハ之ヲ冷靜ニ諸君ガ聽カレタナラバ、直グ分ルコトデアラウト思フノデアル、大正五年寺内内閣ノ時ノ臨時教育會議ノ答申ノ決議ト云フモノガアル、其時ノ決議ノ要領ト云フモノハ、第一ニ此市町村ニ向テハ、教育費ノ、小學校教員ノ俸給ノ國庫及び市町村ノ連帶支辨ノ主義ヲ立テルヨウミト、又國庫支出金ノ分配支給ニ付テハ最モ有效ナル方法ヲ取ルヨウニト、此ニツノ決議ヲ致シマシテ、諸テ其精神ニ付テノ解釋ヲ見ルト云フト、右精神ハ獨り經費ノ上バカリデナク、教員優遇ノ上カラモ、從來ノ如ク市町村ニ委ネテ置イテハ宜シクナイ、國家ト市町村トノ共同負擔ト爲スノ根本理由ノ決議ガアル、之ヲ一ツ讀ンデ見タイノデアリマス、市町村ニ於ケル教育費ノ全部ヲ國庫ノ負擔トシナカッタ云フコトニ付テニ進ンデ、其半額負擔ト爲スノ根本理由ハ、全部國庫ノ負担トスルト、市町村ノ方デハ大ナル自分等ノ子弟ノ教育事業ニ對スル親ミガ薄クナリ、教育者自身ニ於テモ、其町村ト利害休戚ヲ共ニスルト云フ觀念方自然ニ乏シクナツテ、町村自治團體ノ教育上面白クナイカラデアル、斯様ニ書イテ居ルノデアル、即チ此主義ト云フモノノ、今日變改スルナラバ、如何ナル理由ニ依テ變改スルカト云フコトヲ十分ニ討議ヲ致シ、六千万國民ノ前ニ懇ヘテ之ヲ爲スベキコトガ公明ナル政治デハナイカト私ハ思フノデアリマス（拍手）

ナイト云フコトハ、私ハ斷言シテ憚ラナイ  
ノデアル（拍手）左様ニ致シタナラバ、少ク  
モ現内閣ハ、文政審議會ヲ開イテ、慎重ニ  
其全額負擔ニ對スル利害得失ヲ研究ヲ致  
シ、更ニ進ンデ政府ノ、或ハ社會政策、或  
ハ軍制ノ改革、或ハ國際貸借ノ改善、其他  
政府ノ提唱致シテ居ル所ノ總テノ重要ナル  
政策ト之ヲ結合シ、之ヲ研究致シテ、其大  
體ニ依シテ之ヲ決メルト云フヤウニセンケ  
レバナラヌ、是ノミニ向シテ先ニ進ムト云  
フコトハ、如何ニ考ヘテモ、政府ノ主義ノ  
在ル所ヲ信ズルコトハ出來ナイノデアル、  
假ニ私ハ——政府ハ論ジナイケレドモ、其  
點ニ付テ多少ノ論評ヲ加ヘテ見タイト思フ、  
此金額ト云フモノヲ政府ハ一億五、六千万  
圓デアルト云フコトヲ發表シテ居ルノデア  
ルガ、假ニ之ヲ國庫全額支辨ト致シタナラ  
バドウナルカト云フコトデアル、左様致ス  
ナラバ斯様ナル一億五、六千万圓ノ如キ少  
モノハ、更ニ進ンデ二億或ハ二億五、六千  
万圓ノ是ハ程度ニ達スルモノト見ナケレバ  
ハ完全ニ之ヲ振興スル所ノ氣運トナルニ  
依シテ、私ハ今日ノ一億五、六千万圓ト云フ  
シテ此財源ニ應ゼントスルノデアルカ、國  
防ノ費用ノ如キモノハ、成程非常ナル金ヲ  
取シテ居ルカナレドモ、此國防費ナルモノハ  
一定ノ編成ニ基キ、一定ノ編成ニ依シテ之  
ヲ遂行スルノデアルカラシテ、我が政府ニ  
於テモ此計畫ヲ立テルコトガ出來ル、獨リ  
補充科目デアル所ノ或ハ監獄、或ハ馬糧、  
斯様ナルモノハ多少ノ増減ガアルガ、此教  
員俸給ノ全額國庫支辨ナルモノヲ監獄ノ費  
用、或ハ馬糧ノ費用ノ如キモノト一緒ニ補  
充科目ノ類ト考ヘテ居タナラバ、非常ナル  
違算ヲ生ズルト云フコトハ、是ハ明瞭デア  
リマス（拍手）若シ又此增加スル所ノ趨勢ヲ  
政府方矯メント致スト云フコトニナッタナ

ラバ、却テ今日ノ教員ノ待遇ト云フモノハ、將來ニ於テ惡クナルト云フコトヲ見ナケレバナラヌ、之ヲ國庫ノ官吏ト同様ニ待遇致セバドウナルカ、即チ他ノ判任官トノ權衡ヨリ之ヲ致シテ見テモ、今日ノ教員ノ俸給ハ之ヲ維持スルコトガ出來ナイ、ノミナラズ大都市ニ對スル所ノ設備モ、或ハ特別ノ町村ニ對スル設備モ、政府ハ千篇一律ノ平均率ヲ以テ、勤モスレバ之ニ應ズルノデアルカラ、所謂彈力性ナルモノハ之ヲ失フノデアル、ノミナラズ又之ヲ全國ニ分配スルコトニナツタナラバ、今日ノ貧弱町村ニ對シテハ、既ニ飽和點ニ達シテ居ルト云フ、此一點ニ見テモ、政府ノ政策ハ所謂此富裕ナル町村、所謂全國ノ市、重ナル市、大ナル都會、斯様ナルモノニ向シテノミ其惠澤ヲ與ヘルト云フコトニナルノデアルカラ、之ヲ以テ政府ガ農村ニ對シテ非常ナル不權衡ニシテ、非常ニ冷淡ナル所ノ政策ヲ執ルモノデアルト、之ヲ斷ゼザルヲ得ヌノデアル（拍手）單リ經費ノ一點ヨリ見テモ、斯様ナル論評ヲスル點ガ多イ、多イニ拘ラズ之ヲ閑却致シテ、答辯ヲ求メレバ説明ヲセヌト云フ、サウシテ其第一歩トシテ千万圓出シタト云フガ、而モ民政黨ノ諸公ハ、濱口總理ヲ始メトシテ、全額負擔ヲ致サナケレバナラヌト唱ヘタデハナイカ、其唱ヘタ所ノ舌ノ根ノ乾カ又前ニ當シテ、其説明ガ出來ヌト云フヤウナコトデアツタナラバ、何處ニ政治家ト云フ者ノ責任ガアルノデアルカ（拍手）此教育費ノ國庫負擔ナルモノニ付テハ、若是シ是ガ半額ノ前後ノ程度ニ止マルモノデアリ、又其財源ノ確立シタモノノデアリ、又其動機ニ於テ純ナルモノガアルナラバ、吾々ハ必ズシモ反対シナイ、ケレドモ先ニ諭ズル如クニ、政府ノ此提案ハ財源ニ於テ既ニ不確實デアリ、又之ヲ遂行セントスルナラバ、青姫誅求ノ弊ニ陥ルモノデアル、又此監督ノ方面ニ於テモ、政府ノ今日ノ監督ハ町村自治ノ精神ヲ破ルモノデアル、斯ノ如

ク論ジ來ルト云フト、吾々ハドウ致シテモ  
政府ノ追加豫算ナリ、法律案ニ對シテ反對  
セザルヲ得ナイコト、考ヘルノデアル、ノ  
ミナラズ昨日ノ豫算ノ全體ヲ見テモ、單り  
此千万圓ガ不確實ニシテ確信ガナイノミデ  
ハナイ、總テノ豫算ノ表ニ於テ、政府ハ黨  
利黨略ノミニ殉ジテ居ルト云フコトガ明瞭  
トナツテ居ルノデアル（拍手）其一例ヲ舉ゲ  
テ見レバ彼ノ敷賀ノ築港費ハドウ致シタカ、  
五年度ニ於テハ僅カ一千圓ノ金ヲ出シテ置  
イテ、六年度カラ三十四万九千圓ト云フ、  
斯様ナル驚クベキ金ヲ出シテ居ルト云フコ  
トハ何デアルカ、又石川縣ノ梯川、山形縣  
ノ赤川、福岡縣ノ矢部川、斯様ナルモノハ  
何レモ四十六万圓乃至七十一万圓ノ經費ヲ  
投ジテ、繼續費用ヲ以テ爲スモノデアルカ  
ナレドモ、政府ハ此三河川ヲ突如シテ追  
加豫算ヲ出シテ置イテ、本年度ノ支出ト云  
フモノハ僅ニ五千圓、五千圓出シテ置イ  
テ、四十六万圓、七十一万圓ト云フ大ナル  
繼續費ニ致シテ、以テ地方黨員ヲ釣ラント  
致シテ居ルト云フコトハ是デ以テ明瞭デハ  
ナイカ（拍手）斯ノ如ク論ズルナラバ、政府  
今回ノ豫算ト云フモノハ、小ハ千圓ヨリ大  
ハ千万圓ニ至ル迄、悉ク黨利黨略ノ結晶デ  
アルト云フコトヲ私ハ斷言シテ憚ラナイノ  
デアル（拍手）政府ハ強イ政策ヲ行フト言ウ  
タノデアル、公明ナル政策ヲ行フト言ウタノ  
シト云フコトハ、是コソ總理大臣ガ聲明ニ  
對シテ負ウテ居ル重大ナル責任デハナイ  
カ、其重大ナル責任ヲ閑却致シテ、自己ノ輔  
弼ノ責任ノ範圍ヲ答へ得ザルト云フコトニ  
シテ非常ナル攻撃ヲ加ヘテ置イタガ、今ヤ  
政府ハ樞府ニ向シテドウ致シテ居ラレルカ、  
全額負擔ニ於テモ其通リテアル、斯ノ如ク

ニシテ政府ハ無爲無策、無方針、無經綸ノ間  
ニ漂ニテ居ル間ニ、我國ハドウナルカト云フ  
コトヲ考ヘテ見テ貴ヒタイ、此政府ノ政策  
ト云フモノハ、昨日モ我ガ同僚ヨリ申シタ  
通り、無數ナル無產階級ヲ天下ニ漂ハシテ  
シマッテ、少數ノ金權ヲ生カシテ居ル、此政  
治ハ何デアルカト云フナラバ、取リモ直サ  
ズ共產主義ノ萌芽ヲ我國ニ蒔クノデアル、  
政府方黨利黨略ニ因ハレテ居ル間ニ、我國  
ノ中堅階級ハ亡ビル、中堅階級ガ亡ビテ無  
數ノ無產階級ト少數金權者流トナツタナラ  
バ、如何ニシテ我國ノ穩健ナル美風ヲ保チ  
得ルカ、政府ノ政策ハ即チ社會主義、共產  
主義ノ萌芽ヲ蒔クモノデアル、悉ク黨利黨  
略ノ下ニ囚ハレタルモノデアルト私ハ断ズ  
ルモノデアル（拍手）此意味ニ於テ私ハ本案  
ニ對シテ反対ノ意ヲ表スルモノデアリマス  
（拍手）

〔増田義一君登壇〕

◎増田義一君 私ハ委員長ノ報告ニ全然贊  
成スルモノデアリマス、地方財政ノ困難ニ  
シテ市町村負擔が多イノニ苦シニ居ルト云  
フコトハ、是ハ争フベカラザルノ事實デア  
ル（拍手）之ガ負担ヲ幾分デモ輕減シテヤル  
ト云フコトハ、是ハ目下ノ急務デアル、義  
務教育費ノ國庫負擔ヲ増額スルト云フコト  
ハ、市町村民ノ負擔ヲ輕減スルコトニ於テ  
普遍的デアツチ、且ツ極メテ有效適切デアリ  
マス（拍手）今回ノ増額ハ一千万圓デアリマ  
スルガ、是ダケハ全國市町村ニ於ケル戸數  
ハ、市町村民ノ負擔ヲ輕減スルコトニ於テ  
普遍的デアツチ、且ツ極メテ有效適切デアリ  
マス（拍手）今回ノ増額ハ一千万圓デアリマ  
スルガ、是ダケハ全國市町村ニ於ケル戸數  
割及家屋稅ニ對シテ減額スルコトニナルノ  
ト云フ金ヲ大キクモノ見ラレバ、極メテ小  
サクモノ見ラレテ、何ダカ市町村ヘ對シテ僅  
カナヤウニ勘定セラレタガ、之ヲ一万二千  
町村ニ割當ツルト、一町村ニ對シテ八百三  
十餘圓ニナルノデアリマス、此八百三十餘  
圓ハ必ズシモ極メテ些細ナモノトハ今ノ狀

態ニ於テハ言ハレナインデアリマス(拍手)元來小學教員ノ俸給ヲ國庫カラ支出スルト云フコトヽ、市町村カラ支出スルト云フコトハ、其意義ニ於テ極メテ違フノデアリマス、同ジ金額デアッテモ國庫ヨリ受クル方ハ小學教員ノ心持ガ好イノデアリマス、此處ガ餘程大ナル重要性ヲ帶ビテ居ルト云フコトヲ考ヘテ貰ヒタイノデアル、ソレデアリマスルカラ本案ハ單ニ物質的問題トノミ考ヘナイデ、教員ノ精神的作用カラ考ヘル必要ガアルノデアリマス(拍手)從來ノ義務教育費ノ國庫負擔金七千五百万圓ヲ八千五百万圓ニ増額スルノデアリマスガ、之ヲ昭和四年度ノ全國尋常小學校教員ニ對スル割合ヲ調べテ見マスルト、五割四分ニ過ギナイ、シテモ尙ホ一分少イノデアリマス、ソレヲ併シ昭和二年度ノ時ニハ七千五百万圓デモ五割五分ニ當テ居タノデアリマス、而シテ五年度ハ四年度ニ較ベレバ今ノ一千万圓増スト云フト、茲ニ一千万圓ヲ増シマシテモ僅ニ四割八分ニシカ過ギナインデアリマス、此點カラ見レバ所謂半額負擔主義ノ方モ大ニ考慮セラル、必要ガアル、小學教員ノ俸給ハ……

京市ニ於テ全國小學校長會議ガ開カレタ、其時ニ義務教育費國庫負擔ノ増額ニ對シ熱烈ナル希望ヲ決議シテ居リマス、ソレデアリマスカラ其希望ヲ充シテヤルト云フコトハ、教員ノ精神作用ニ及ボス良イ影響ガアルト云フコトハ明カデアリマス(拍手)而シテ其一千万圓ノ財源ニ付テハ剩餘金ヨリ支出スルト云フコトハ、財源極メテ不確實デアルト云フ論ヲ只今矢張岡田君が繰返サレマシタ、所デ現内閣ハ昭和五年度ノ豫算ニ一千萬圓計上シテアルノデアル、ソレガ議會解散ノ爲ニ豫算不成立ニナリマシタカラ、已ムヲ得ス剩餘金ヨリ支出スルコトニナッテ居ルノデ、決シテ財源不足ト云フ意味デハナイ、此財源ニ關シテ井上大藏大臣ノ説明セラレル如クニ、經常歲入ハ十五億五千四百万圓、經常歲出ガ十二億二千四百万圓デアルカラ、差引二億九千萬圓アル譯デアル、此二億九千萬圓ノ中カラ切盛リスルコトガ出來ルノデアル、殊ニ將來歲出ノ節約ト云フコトハ政府出來ルコトデアリマス、況ヤ倫敦軍縮會議ノ結果軍費ノ節約ガ出來テ剩餘ガ出來ルト云フコトハ、是ハ爭ヘナイ事實デアリマセウ(拍手)私ハ本案ノ財源ニ對シテハ大藏大臣ノ言明ニ對シテ全然心配ナイト確信シテ居ルモノデアリマス(ヒヤヒヤ)或ハ此一千万圓増額ヲ以テ、教育上ノ制度ノ大問題デアルト云フヤウナ口吻ガアリマスルガ、是ハ七千五百万圓ガ八千五百万圓ニナシタカラト言シテ、何モ制度上ノ大問題デハナイノデアリマス(拍手)是ハ鬼面人ヲ欺クト云フヨリ外ハナイ、吾吾ハ主義トシテハ小學教員ノ俸給全額ヲ國庫ノ負擔トシタイト思テ居ル、而シテ財政ニ餘裕ノ生ズル毎ニ漸次増額シテ、其目的ヲ貫徹シタイト云フ望デアル、是ハ小學教員ノ精神ヲ獨立セシメテ、其天職ニ對スル所ノ權威ヲ維持スルガ爲ニ、極メテ必要デアルト信ジテ居ル(拍手)元來國民教育トシテ最モ大切ナルモノハ人間ラシキ人間ヲ造ルト

云フコトデアル(拍手)即チ精神教育、人格教育ノ必要ナルコトハ、近時ノ世相ニ鑑ミテ最モ痛切ニ考ヘテ居リマス

(發言スル者多シ)

◎議長(藤澤幾之輔君) 静肅ニ願ヒマス

◎増田義一君(續) 精神教育ト云ヒ人格教育ト云ヒ、是ハ理窟ノ問題デハナイ、教員ノ感化ノ問題デアリマス、所謂感化ハ教員ノ人格ノ力デアル、小學校員ハ生徒ニ對シテ最モ偉大ナル感化ノ力ヲ持テ居ル、或

ル青年ハ斯ク言ツコトガアリマス、小學校ニ於テ感化ヲ受ケ、中學校ニ於テ友ヲ得、高等學校ニ行シテ社會ヲ見タト言フ、即チ人間ノ大切ナル感化ガ小學校時代ニアルト云

フコトハ、是ハ大ニ考フベキコトデアリマス、ソコニ小學校教員ノ天職ノ重大ナルコトヲ發見スルノデアリマス(拍手)是ニ於テカ小

學校教員ニ、出來ルダケ優秀ナル人物ヲ得

タイト云フコトハ、是ハ人格教育、精神教育ノ上カラ益、其必要ヲ感ズルノデアル、而シテ其小學校教員ハ俸給ヲ國庫カラ支辨サレルコトヲ望ンデ居ルノデアル、義務教育費ノ國庫支辨ノ意味ガ故ニ重大性ヲ帶ビテ居ルト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌノデアリマス(拍手)私ガ此問題ヲ精神的ニ取扱シテ貴ヒタイト云フノハ此意味カラテアリマス(發言スル者多ク議場騒然)

◎議長(藤澤幾之輔君) 林君、靜ニ……

〔「嘘ヲ言フカラダ」其他發言スル者多

シ〕

〔「發言スル者多ク議場騒然」

◎議長(藤澤幾之輔君) 其他發言スル者多

シ

〔「發言スル者多ク議場騒然」

◎議長(藤澤幾之輔君) 井上大藏大臣ノ説明セラレル如クニ、經常歲入ハ十五億五千四

百万圓、經常歲出ガ十二億二千四百万圓デ

アルカラ、差引二億九千萬圓アル譯デアル、此二億九千萬圓ノ中カラ切盛リスルコトガ出來ルノデアル、殊ニ將來歲出ノ節約ト云フコトハ政府出來ルコトデアリマス、況ヤ倫敦軍縮會議ノ結果軍費ノ節約ガ出來テ剩餘ガ出來ルト云フコトハ、是ハ爭ヘナ

イ事實デアリマセウ(拍手)私ハ本案ノ財源ニ對シテハ大藏大臣ノ言明ニ對シテ全然心配ナイト確信シテ居ルモノデアリマス(ヒヤヒヤ)或ハ此一千万圓増額ヲ以テ、教育上ノ制度ノ大問題デアルト云フヤウナ口吻ガアリマスルガ、是ハ七千五百万圓ガ八千五百万圓ニナシタカラト言シテ、何モ制度上ノ大問題デハナイノデアリマス(拍手)是ハ鬼面人ヲ欺クト云フヨリ外ハナイ、吾吾ハ主義トシテハ小學教員ノ俸給全額ヲ國庫ノ負擔トシタイト思テ居ル、而シテ財政ニ餘裕ノ生ズル毎ニ漸次増額シテ、其目的ヲ貫徹シタイト云フ望デアル、是ハ小學教員ノ精神ヲ獨立セシメテ、其天職ニ對スル所ノ權威ヲ維持スルガ爲ニ、極メテ必要デアルト信ジテ居ル(拍手)元來國民教育トシテ最モ大切ナルモノハ人間ラシキ人間ヲ造ルト

等小學校教員ヲ合セテ一億六千七百六十万円デアリマス、所デ地租營業収益稅ノ兩方ヲ合セマスト、其收入ハ一億二千七百万圓デ

アリマス、而シテ此八千五百萬圓案ガ通過致シマスレバ、後ノ殘リヲ兩稅ノ一億二千

七百万圓ノ中カラ尋常小學校教員ノ俸給モ引イテ見マスト、六千二百萬圓餘ヲ來ル、

諸君、兩稅委讓ノ財源ガアルナラバ、所

謂俸給全額ヲ負擔シテモ尙ホ縛タシテ餘

裕アリト云フ數字ヲ茲ニ述ベテ居ルノデアリマス(拍手)或ハ又……(ゾレハ何ダ)其

他發言スル者多シ)或ハ小學校ノ教員ノ俸

給ハ年々增加スルカラ、到底國庫ノ負擔ニ堪ヘナイトスルナラバ、如何ニシテ地方ノ

リマス(拍手)或ハ又……(ゾレハ何ダ)其

他發言スル者多シ)或ハ小學校ノ教員ノ俸

給ハ年々增加スルカラ、到底國庫ノ負擔ニ

シモ是ハ無限ノモノデハナイ、若シ國庫デ

サヘモ全國小學校教員ノ俸給全額ノ負擔ニ

給ハ年々增加スルカラ、到底國庫ノ負擔ニ

ノ諸君ガ之ニ反對セラレルト云フコトハ、如何ニモ農村ニ對シテ不親切デハアリマセヌカ(拍手)

去ル四月下旬宇治山田市ニ開催サレタ所

ノ全國市町村長會議ノ決議ヲ御覽ナサイ、アレニ出席シテ市町村長千五百餘名、其中ニハ政友會ニ屬スル町村長モ御出席ニナッ

テ居リマス、サウシテ其義務教育費國庫負擔ノ増額ヲ、而モ伊勢大廟ニ誓テ其増額ヲ

ニアリマスガ、一タビ地方ニ御歸リニナッテ市

ニハ此全國ノ市町村長ノ熱心ナル要求ヲ何ト

見ラレマスカ、諸君ハ此議場ニ於テ反對セ

ラレマスガ、一タビ地方ニ御歸リニナッテ市

町村民ノ言葉ヲ聞イテ御覽ナサイ(拍手)

諸君、本年二月ノ總選舉ニ於テ民政黨ハ

此義務教育費國庫負擔ノ増額ヲ唱へタ、ソ

レニ因ハレテ政府ヲシテ此案ヲ提出セシム

ルノ餘儀ナキニ至ラシメタト唱ヘラレテ居

リマスルガ、諸君若シ此問題ガ選舉ニソレ

此義務教育費國庫負擔ノ増額ヲ唱へタ、ソ

レニ因ハレテ政府ヲシテ此案ヲ提出セシム



◎議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メ  
マス、直ニ第二讀會ヲ開キマス

輸出補償法案

第二讀會(確定議)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致  
候此段及報告候也

昭和五年五月五日

委員長 池田 敬八

(池田敬八君登壇)

衆議院議長藤澤幾之輔殿

◎池田敬八君

式會社日本興業銀行ニ對スル債權ノ讓渡ヲ

正法律案及ビ製鐵所特別會計ニ於

預金部又ハ日本銀行ノ横濱正金銀行又ハ株

式會社日本興業銀行ニ對スル債權ノ讓渡ヲ

受クルコトニ關スル法律案(政府提出)

決確定致シマシタ——日程第五、關稅定率法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス、委員長永田善三郎君

第五 關稅定率法中改正法律案 (政府提出) 報告書

第一讀會ノ續(委員長報告)

一關稅定率法中改正法律案(政府提出) 右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致

候此段及報告候也

昭和五年五月五日

委員長 永田善三郎

衆議院議長藤澤幾之輔殿

希望候項

● 永田善三郎君 只今議題トナリマシタ關稅定率法中改正法律案ノ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、委員會ハ三回程開キマシタガ、極メテ順調ニ進ミマシタ、本案ノ改正品目ハ四ツバカリアリマスガ、主ナルモノハ綿絲關稅ノ中特殊ノ製品ヲ無税トシテ、一般ノ綿絲ヲ三割五分低減スルト云フ案デアリマス、其他ノコトハドウカ法律案ヲ御覽ヲ願ヒタイト思ヒマス、又委員會ノ經過ハ速記録ニ依テ能ク御覽ヲ願ヒタイト思ヒマス、洵ニ簡単ニ相濟シダ譯シタノデ、本案ヲ可決致シマシタ後、希望條項ヲ一つ附シマシタ、即チ

歐洲大戰後國內ニ發達シ未ダ基礎確立セザル産業ニ對シテハ、政府ハ產業振興ノ見地ヨリ宜シク適當ノ對策ヲ講ゼラレンコトヲ望ム

ト云フ希望項デアリマス、斯ク致シマン

テ全會一致ヲ以テ委員會ハ可決致シマシタ此段御報告申上ゲマス(拍手)

● 議長(藤澤幾之輔君) 本案モ質疑、討論共ニ通告カアリマセヌ、本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

● 議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

● 岡本實太郎君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレントヲ望ミマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

● 議長(藤澤幾之輔君) 岡本君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

關稅定率法中改正法律案

第二讀會(確定議)

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

● 議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定致シマシタ——是ニテ本日ノ日程ハ全部議了致シマシタ、次回ノ日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後二時三十九分散會